

# 新しい通園制度 趣旨活かし導入へ

答 導入に向けて検討を進める



浦崎 みゆき 議員

**問** 新しい「こども誰でも通園制度」の内容、本町への導入はいつか。対象人数はどうなっているか。

**こども課長** 就労要件を問わず時間単位で保育所等を利用できる新たな通園制度で令和8年より導入を予定している。対象者は令和6年4月で230人である。

**問** 全国的にモデル事業が行われているが本町の各保育園からの意見や受け止め方はどうか。

**こども課長** 要項や通知を園と共有している。園からは専門的な保育士がフォローする部分で賛成、課題として保育士の配置や月10時間という時間制限、保育士の負担が増える等の意見が寄せられている。

**問** 支援を必要としている家庭の子どもを短時間でも預けることにより、リフレッシュできる、また専門家である保育士に子育ての相談ができる

機会を得られるメリットもある。一時保育のように、自治体独自の裁量ができないか。

**こども課長** 支援を要する世帯の保護者の負担軽減の部分で、誰でも通園と一時保育の部分と一緒に制度として取り組むことは、今後想定される。

**問** 本町の保育所の定員割れの状況はどうか。誰でも通園制度は、保育所の経営を助けるメリットもあると思う。制度の趣旨を活かし導入してほしいが、本町の考えを伺う。

**こども課長** 保育所の空き状況は、0歳〜5歳で合計96名である。今後の経営の懸念はあることから解消の一助となると認識している。

幾つかの課題はあるが国の大きな子育て支援制度の導入に向けて検討を進めている。

ペットと同行避難は出来るか

**問** ペット避難所は確保されているか。また、どれぐらいの頭数を考えているか。

**副町長** 避難所敷地内（ちむぐる館）に専用スペースを確保し対応する。10頭の予定である。



ペット用避難 予定場所

**問** 10頭は少ないと思うが、今後頭数を増やす考えはあるか。

**総務課長** ちむぐる館以外の指定避難所、専用スペースを確認しながら頭数を増やすよう検討したい。